

茨木市ジェンダー平等(男女共同参画)に関する 市民意識調査

市民の皆さまには、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、「いばらきジェンダー平等プラン(第3次茨木市男女共同参画計画)」「(令和5年度～令和9年度)のもと、性別にかかわらず、一人ひとりの「幸せ」がかなうまちいばらきの実現をめざして、さまざまな施策に取り組んでいます。

このたび、次期計画の策定にあたり、より一層の施策の推進を図るため、広く市民の皆さまの意見をお聞きしたいと市民意識調査を実施することといたしました。ご多忙のこととは思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年 10 月

茨木市長 福岡 洋一

<ご記入にあたってのお願い>

1. この調査は、茨木市にお住まいの 18 歳以上の市民の皆さまの中から無作為に抽出した 2,000 人の方を対象として行っています。ご回答いただきました内容は、統計的な分析にのみ使用するものであり、それ以外の目的には使用しません。また、名前の記入も不要です。
2. お答えは必ず、あて名の方ご自身のお考えをご記入ください。
3. 回答は質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○をつけてください。質問によって、複数選んでいただく場合があります。「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にご記入ください。
4. 答えにくいもしくは答えられない質問があるときは、飛ばして次の質問にお進みください。
5. 回答方法

あて名の方が【インターネットでの回答】または【郵送での回答】のいずれか一方を選んでください。
両方に回答された場合は、一方の回答が無効になります。

【インターネットでの回答】

右記のQRコードまたは下記URLよりご回答ください。

https://



回答ページにて左記の番号を入力してご回答ください。
なお、この番号は統計処理のためランダムに付与しているもので、番号から個人を特定することはできません。

※回答は1回限りです。回答後の修正はできませんので、ご注意ください。

【郵送での回答】

アンケート用紙に回答をご記入の上、同封の返信用封筒(切手は不要です)で、ご返信をお願いします。

■■■ 回答期限 令和8年●月●日(●)(当日消印有効) ■■■

◎この調査に関するお問い合わせ先

茨木市役所 共創文化部 人権・男女共生課

電話 072-620-1640(直通)/FAX 072-620-1725

メール jinken@city.ibaraki.lg.jp

問1. あなたは、男女の地位がどの程度平等になっていると思われますか。次の分野で、あてはまる番号に○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が 優遇されている	平等	どちらかといえば 女性の方が 優遇されている	女性の方が非常に 優遇されている
ア 法律や制度のうえでは	1	2	3	4	5
イ 社会の慣習やしきたりでは	1	2	3	4	5
ウ 自治会などの地域活動では	1	2	3	4	5
エ 学校生活では	1	2	3	4	5
オ 雇用の機会や職業の選択では	1	2	3	4	5
カ 賃金や待遇では	1	2	3	4	5
キ 家庭生活では	1	2	3	4	5
ク 政治・経済活動では	1	2	3	4	5
ケ 社会全体では	1	2	3	4	5

問2. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

1. 賛成	4. 反対
2. どちらかといえば賛成	5. わからない
3. どちらかといえば反対	

《問2で、「1. 賛成」「2. どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。》

問3-1. それはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから 2. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから 3. 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから 4. 日本の伝統的な家族のあり方だと思うから 5. 自分の両親も役割分担していたから 6. その他（具体的に 7. わからない	)
---	---

《問2で、「3. どちらかといえば反対」「4. 反対」と答えた方におたずねします。》

問3-2. それはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 固定的な男性と女性の役割分担の意識を押し付けるべきではないから
2. 女性が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
3. 男性も女性も働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 男女平等に反すると思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから
6. 自分の両親も、ともに働いていたから
7. その他（具体的に
8. わからない

《全員におたずねします。》

問4. 家庭におけるさまざまな役割について、おたずねします。あなたは以下のことがらをどのように分担するのが良いと思いますか。

	主に男性が担う	どちらかといえば男性が担う	男女が同じ程度	どちらかといえば女性が担う	主に女性が担う
(○はそれぞれ1つ)					
ア 生活費をかせぐ	1	2	3	4	5
イ 日々の家計の管理をする	1	2	3	4	5
ウ 日常の買い物	1	2	3	4	5
エ 食事のしたく、後片付け	1	2	3	4	5
オ 洗濯(洗濯物干し・たたみを含む)	1	2	3	4	5
カ 掃除	1	2	3	4	5
キ 老親や病身者の介護・看護	1	2	3	4	5
ク 子どもの教育としつけ	1	2	3	4	5
ケ 学校行事への参加	1	2	3	4	5
コ 乳幼児の世話	1	2	3	4	5
サ 自治会、町内会など地域活動への参加	1	2	3	4	5

問5. あなたは、「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

《問5で、「1. ある」と答えた方におたずねします。》

問6. それは、どのようなときに感じましたか。(○はいくつでも)

1. なにかにつけ「男だから、女だから」「男のくせに、女のくせに」と言われる 2. 自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある 3. 仕事と家事・育児・介護を両立する負担が大きい 4. 「妻子を養うのは男の責任だ」と言われる 5. 「男なのに酒が飲めないのか」「力が弱い」「運動が苦手だ」とバカにされたり、からかわれる 6. 仕事の責任が大きい、仕事できて当たり前と言われる 7. 責任のある仕事を任せてもらえない、決定権のある役職に就けない 8. 家事、育児ができて当たり前と言われる 9. 女性はやさしくて、よく気がつき、従順であることを求められる 10. その他（具体的に	)
---	---

《全員におたずねします。》

問7. 子育てについて、あなたの考え方に近いものはどれですか。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
(○はそれぞれ1つ)					
ア 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方が良い	1	2	3	4	5
イ 言葉遣いや仕草など、女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつけるのが良い	1	2	3	4	5
ウ 子どもが3歳くらいまでは母親が育てた方が良い	1	2	3	4	5

問8. 学校教育や学校生活の中で、ジェンダー平等(男女共同参画)を進めるために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男女(ジェンダー)平等に関する教職員研修を充実する
2. 校長や教頭に女性を増やしていく
3. 学校生活の中で、性別による固定的な役割分担を行わない
4. 性別にかかわらず、個人の能力、個性、希望に応じたチャレンジができる雰囲気づくりをする
5. 自分の心と体を大切に、相手も大切にする性教育の充実に努める
6. 性的マイノリティについての理解を深める
7. 保護者会などを通じて男女(ジェンダー)平等教育への保護者の理解を深める
8. その他 (具体的に)
9. 学校教育の中で取り組む必要はない

問9. あなたは、生活の中で「仕事」、「家庭や地域活動」、「個人の生活」で何を優先しますか。あなたの希望と現実(現状)に最も近いものをそれぞれ1つお答えください。

※「仕事」……………週1時間以上働いていること。フルタイム、パート、アルバイト、嘱託などは問わない
「家庭や地域活動」…家族と過ごす、家事、育児、介護・看護、地域活動など
「個人の生活」……………学習・研究(学業も含む)、趣味・娯楽、スポーツなど

<希望> (〇は1つ)	1. 「仕事」を優先したい 2. 「家庭や地域活動」を優先したい 3. 「個人の生活」を優先したい 4. 「仕事」と「家庭や地域活動」を優先したい 5. 「仕事」と「個人の生活」を優先したい 6. 「家庭や地域活動」と「個人の生活」を優先したい 7. 「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしたい 8. その他 (具体的に) 9. わからない
<現実> (〇は1つ)	1. 「仕事」を優先している 2. 「家庭や地域活動」を優先している 3. 「個人の生活」を優先している 4. 「仕事」と「家庭や地域活動」を優先している 5. 「仕事」と「個人の生活」を優先している 6. 「家庭や地域活動」と「個人の生活」を優先している 7. 「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしている 8. その他 (具体的に)

問 10. 一般的なこととして、女性の就労と結婚、出産、子育てとのかかわりについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1. 結婚、出産にかかわらず、仕事を続ける方が良い
2. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けるのが良い
3. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けるのが良い
4. 子どもができるまで仕事に就き、子どもができたなら家事や子育てに専念するのが良い
5. 結婚までは仕事に就き、結婚後は家庭のことに専念するのが良い
6. 女性は仕事に就かない方が良い
7. その他（具体的に _____）
8. わからない

問 11. **女性の方** → あなたの場合、実際の働き方は、どれにあたりますか。またはどのようにされるつもりですか。(○は1つ)

男性の方 → あなたに配偶者・パートナーがいる場合、あなたの配偶者・パートナーの実際の働き方は、どれにあたりますか。またはどのようにされると思いますか。(○は1つ)

1. 結婚、出産にかかわらず、仕事を続けている(続けていた／続けるつもり)
2. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(続けていた／続けるつもり)
3. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(続けていた／続けるつもり)
4. 子どもができるまで仕事に就き、子どもができたなら家事や子育てに専念している(専念していた／専念するつもり)
5. 結婚までは仕事に就き、結婚後は家庭のことに専念している(専念していた／専念するつもり)
6. 仕事に就いたことはない(就くつもりはない)
7. その他（具体的に _____）
8. わからない

問 12. 男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 男性のための、家事・子育て・介護などの情報提供を行う
2. 男性が参加しやすい方法や場づくりをする
3. 男性が子育てや介護を行うための仲間(ネットワーク)づくりを進める
4. 講習会や研修等を行い、男性の家事・子育て・介護の技能を高める
5. 男性に対して、仕事中心の生き方や考え方を見直すための機会をつくる
6. 社会の中で、男性が家事・子育て・介護に参画することに対する評価を高める
7. 事業主や企業に対して、長時間労働の削減など、仕事と生活の両立の重要性について啓発を行う
8. その他（具体的に _____）
9. 特にない

問 13. 災害時において、性別や年齢などによる違いや多様性に配慮した災害対応をしていくためには日頃からどのようなことを行っていく必要があると思いますか。(○は3つまで)

1. 防災に関する会議の女性委員の割合を増やす
2. ジェンダー平等(男女共同参画)の視点を取り入れた防災の研修・講座の実施
3. 性別にかかわらず多様な人が多く参加する防災訓練の実施
4. ジェンダー平等(男女共同参画)の視点を取り入れた啓発冊子やマニュアルの作成・配布
5. 地域で防災活動に参画する女性リーダーの養成
6. 日頃から性別にかかわらず多様な人が協力して地域のことを進める
7. その他（具体的に
8. 特に必要なことはない

)

問 14. セクシュアル・ハラスメントについておたずねします。あなたは、職場や学校、地域などで次のような行為をされたことがありますか。

(○はいくつでも)		職場で	学校で	地域で	受けたことがない
ア	年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われる	1	2	3	4
イ	卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされる	1	2	3	4
ウ	身体をじろじろ見られる	1	2	3	4
エ	わざと身体に触られる	1	2	3	4
オ	宴会などでお酌やデュエットを強要される	1	2	3	4
カ	性的なうわさを流される	1	2	3	4
キ	しつこく交際を求められる	1	2	3	4
ク	性的な行為を強要される	1	2	3	4

問 15. あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーや恋人の間で行われた場合、暴力だと思いますか。

	暴力にあたると思わない	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	どんな場合でも暴力にあたると思う
(○はそれぞれ1つ)			
ア なぐる、ける	1	2	3
イ 物を投げる	1	2	3
ウ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
エ 大声でどなる	1	2	3
オ 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などの人格を否定するような言葉を使う	1	2	3
カ なぐるふりをして、おどす	1	2	3
キ 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
ク いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
ケ 見たくないのにポルノビデオを見せる	1	2	3
コ 裸の写真を撮り、インターネットに流したりする	1	2	3
サ 生活費を渡さない	1	2	3
シ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3

問 16. あなたは、これまでに交際相手がいきましたか。(結婚している方は結婚前について)(○は1つ)

1. 交際相手がいいた(いる)	2. いなかった
-----------------	----------

《問 16 で「1.交際相手がいた(いる)」と答えた方におたずねします。》

問 17. これまでに交際相手が、あなたに対して次のようなことをしたことがありますか。

(○はそれぞれ1つ)		何度も あった	1～2度 あった	まっ た く ない
ア	なぐったり、けったり、物を投げたり、突き飛ばしたりする等	1	2	3
イ	人格を否定するような暴言、大声でどなる、長時間無視する、 ののしる、脅迫する等	1	2	3
ウ	性行為を強要する、避妊に協力しない、中絶を強要する等	1	2	3
エ	生活費を渡さない、仕事をして収入を得ることを制限する、 貯金を勝手に使われる、相談なく借金を重ねる等	1	2	3
オ	外出や親族・友人との付き合いを制限する、電話やメールを 細かくチェックする等	1	2	3

《全員におたずねします。》

問 18. あなたは、「デートDV」について、どの程度知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている	2. 聞いたことがある	3. 知らない
------------	-------------	---------

問 19. あなたは、結婚(事実婚を含む)していますか。(○は1つ)

1. 結婚していない(したことがない)	2. 結婚したが、離婚または死別した
3. 結婚している	4. 結婚していないがパートナーと暮らしている

《結婚(事実婚を含む)したことがある方におたずねします。》

問 20. これまでに配偶者・パートナーが、あなたに対して次のようなことをしたことがありますか。

(○はそれぞれ1つ)		何度も あった	1～2度 あった	まっ た く ない
ア	なぐったり、けったり、物を投げたり、突き飛ばしたりする等	1	2	3
イ	人格を否定するような暴言、大声でどなる、長時間無視する、 ののしる、脅迫する等	1	2	3
ウ	性行為を強要する、避妊に協力しない、中絶を強要する等	1	2	3
エ	生活費を渡さない、仕事をして収入を得ることを制限する、 貯金を勝手に使われる、相談なく借金を重ねる等	1	2	3
オ	外出や親族・友人との付き合いを制限する、電話やメールを 細かくチェックする等	1	2	3
カ	子どもの前で暴力をふるったり、子どもに暴力をふるう	1	2	3

《問 17・問 20 で、1つでもされたことがあったと答えた方におたずねします。》

問 21. そのことを誰か(どこか)に相談しましたか。(○はい/○いいえ/○どちらでもない)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| 1. 家族や親族 | 9. 3～8 以外の公的な機関 |
| 2. 友人・知人 | 10. 民間の専門家や専門機関 |
| 3. 茨木市配偶者暴力相談支援センター | (弁護士・カウンセリング機関・民間シェルターなど) |
| 4. 男女共生センターローズ WAM | 11. 医療機関 |
| 5. 市役所の相談窓口 | 12. その他 (具体的に) |
| 6. 大阪府女性相談センター | 13. 相談したかったが、しなかった(できなかった) |
| 7. ウィズユーおおさか／性暴力救援センター・
大阪 SACHICO | 14. 相談しようと思わなかった |
| 8. 警察 | |

《問 21 で「13. 相談したかったが、しなかった(できなかった)」「14. 相談しようと思わなかった」と答えた方におたずねします。》

問 22. 相談しなかった、しようと思わなかったのはなぜですか。(○はい/○いいえ/○どちらでもない)

1. どこ(誰)に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
4. 他人を巻き込みたくなかったから
5. そのことについて思い出したくなかったから
6. 相談することで自分が傷つきたくなかったから
7. 相手の仕返しが怖かったから(暴力・嫌がらせなど)
8. 世間体が悪いと思ったから
9. 知られると仕事や学校などで今まで通りのつきあいができなくなると思ったから
10. 「誰にも言うな」と脅されたから
11. 監視が厳しく連絡や相談ができなかった
12. 相談してもむだだと思ったから
13. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
14. 自分にも悪いところがあると思ったから
15. 相談するほどのことではないと思ったから
16. 自分が受けている行為が暴力とは認識していなかったから
17. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
18. その他 (具体的に)

《全員におたずねします。》

問 23. あなたは、LGBTQ をはじめとする性的マイノリティについて、どの程度知っていますか。
(○は1つ)

- | | | |
|------------------|---------------|------------|
| 1. 言葉も意味も両方知っている | 2. 言葉だけは知っている | 3. 言葉も知らない |
|------------------|---------------|------------|

問 24. あなたは、今までに性自認(自分で自分の性別をどう思うか)または性的指向(どんな性別の人を好きになるか)に悩んだことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 25. LGBTQ をはじめとする性的マイノリティにとって、現状は生活しづらい社会だと思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

《問 25 で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた方におたずねします。》

問 26. どのようなことが生活しづらい社会にしていると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 家族、友人など周囲の人に相談できない |
| 2. カミングアウト後、周囲の理解が得られない・態度が変化する |
| 3. いじめ(悪口・嫌がらせなど)を受ける |
| 4. 住居選択において偏見・差別がある |
| 5. 医療の場において偏見・差別がある |
| 6. 就職・就業において偏見・差別がある |
| 7. 福利厚生において偏見・差別がある |
| 8. 自認する性と異なるふるまいや服装などを強要される |
| 9. 自認する性として利用できる施設・設備が少ない(トイレ・更衣室など) |
| 10. 夫婦と同様に、同性パートナーとの関係を認めてもらえない |
| 11. 性的マイノリティの権利を守るための法整備が進んでいない |
| 12. 行政機関などの相談・支援体制が不十分である |
| 13. 性別の記入を求められる書類が多い |
| 14 その他 (具体的に) |

《全員におたずねします。》

問 27. 茨木市の性的マイノリティ支援に関する取組を知っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. いばらきにじいろ相談(電話相談) | 4. パートナーシップ宣誓制度 |
| 2. いばらきにじいろスペース
(コミュニティスペース) | 5. LGBTQ 出前研修 |
| 3. 公正証書補助制度 | 6. フレンドリー企業登録制度 |
| | 7. いずれも知らない |

問 28. あなたは、男女共生センターローズWAMを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない

《問 28 で「1. 知っており、利用したことがある」と答えた方におたずねします。》

問 29. どういったことで利用されましたか。(○はいくつでも)

1. ローズWAMまつりに参加
2. ローズWAMの講座やセミナーを受講
3. 電話相談や面接相談を利用
4. ホール、交流サロン(フリースペース)、会議室などの利用
5. 図書や DVD などの貸出
6. その他 (具体的に)

《全員におたずねします。》

問 30. この5年間くらいの間の茨木市の状況についておたずねします。あなたご自身の経験に照らして、あなたの考えに最も近いと思うものを選んでください。

(○はそれぞれ1つ)		そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
ア	男女(ジェンダー)平等の考え方が浸透している	1	2	3	4	5
イ	子育て支援策が充実し、男女がともに働き続けやすいまちになっている	1	2	3	4	5
ウ	介護支援策が充実し、男女がともに働き続けやすいまちになっている	1	2	3	4	5
エ	男性の育児・介護への参画が進んでいる	1	2	3	4	5
オ	職場や地域で活躍する女性が増えた	1	2	3	4	5
カ	市のセクシュアル・ハラスメントや DV などへの対応が進んでいる	1	2	3	4	5
キ	性の多様性への理解促進が進んでいる	1	2	3	4	5

問 31. あなたは、以下のような“困難なことを経験”したことがありますか。(○はいくつでも)

1. 予期せぬ妊娠
2. 子育て
3. 性的なことに関する嫌な経験(痴漢・盗撮等)
4. 暴力や暴言、人からの付きまとい
5. 外国にルーツがあり、日本社会になじめていない
6. ギャンブル、アルコール、タバコ依存
7. うつ的な気分が続く
8. 学校、SNS、職場などでの他者との関係
9. 衣食住(身の回りの生活)での支障
10. 家庭などの普段過ごす場所に信頼できる人がおらず、居場所がないと感じる
11. 人との関わりがなく、孤独・孤立していると感じる
12. お金に困っており、生活が苦しい
13. そのような経験をしたことはない
14. その他(具体的に)

《問 31 で「13. そのような経験をしたことはない」以外と答えた方におたずねします。》

問 32. その際、相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 相談した | 2. 相談しなかった |
|---------|------------|

《問 32 で「2. 相談しなかった」と答えた方におたずねします。》

問 33. あなたが相談しなかった(できなかった)のはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. 相談しても無駄だと思った | 7. 相談したことが周りに知られて、よりひどい状況になると思った |
| 2. 相談するほどのことではないと思った | 8. 相談することは恥ずかしいことだと思った |
| 3. 相談できる相手がいなかった | 9. 今までの生活や人間関係を壊したくない |
| 4. 我慢すればよいと思った | 10. 特に理由はない |
| 5. 相談できる相手が分からなかった | 11. その他(具体的に) |
| 6. 自分にも悪いところがあると思った | |

問 34. あなたは、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援法)が施行されたことを知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない | 3. 知らない |
|----------|----------------------|---------|

問 35. 困難な問題を抱える女性が、支援につながりやすい体制をつくるために、必要だと思う取組は何か。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 学校内での相談体制整備 | 6. いつでも安心して休める居場所づくり |
| 2. 市民に対する啓発や情報提供を行う | 7. 支援を行う関係機関の連携強化 |
| 3. メールやSNSによる相談窓口の拡充 | 8. アウトリーチ※による早期発見 |
| 4. 休日や夜間の相談窓口の拡充 | 9. その他(具体的に) |
| 5. 同年代の女性相談員による相談受付 | 10. わからない |

※訪問、巡回など積極的に対象者がいる場所に出向いて働きかけること。

問 36. 文部科学省の「令和5年度学校基本統計」によると、例えば、大学の理学部・工学部に進学する女性は男性より少ない、薬学部・看護学部に進学する男性は女性より少ないという現状であることが分かっています。進路選択の一例としてこのような状況がありますが、あなたは、一般的に進路選択に影響を与えるのは次のうちどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 母親 | 8. 塾や習い事など、学校以外の先生 |
| 2. 父親 | 9. 学校での職場体験 |
| 3. 兄弟姉妹 | 10. 地域社会での体験 |
| 4. 祖父母 | 11. 本、漫画、テレビやアニメ |
| 5. その他の家族・親族 | 12. インターネットや SNS |
| 6. 友人や先輩 | 13. その他(具体的に) |
| 7. 学校の先生 | |

問 37. あなたは「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 言葉も意味も知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが、意味はよく知らない |
| 3. 知らない |

問 38. あなたは、次のような場面で、性別に関する「無意識の思い込み」を感じたことがありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 職場・仕事上の場面で(「女性だから管理職は無理」「男性なのに育休をとるの?」など) |
| 2. 家庭・家事・育児の場面で(「家事は女性がやるもの」「父親が料理するの?」など) |
| 3. 地域活動・町内会などの場面で(「リーダーは男性が向いている」など) |
| 4. 学校・教育の場面で(「理系は男性向き」「女の子なのに活発すぎる」など) |
| 5. 医療・福祉の場面で(「看護師は女性、医師は男性」など) |
| 6. メディア・広告などで(「家事をするのは女性」といった CM や表現など) |
| 7. その他(具体的に) |
| 8. 感じたことはない |

あなた自身についておたずねします。

F1. あなたの性別は。(○は1つ) ※統計的な分析に必要であるため性別等をおたずねします。

- | | | |
|-------|-------|--|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. ()
どちらともいえない、わからない、答えたくない
など自由にお書きください |
|-------|-------|--|

F2. あなたの年齢は。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 | 4. 40～49 歳 |
| 5. 50～59 歳 | 6. 60～69 歳 | 7. 70 歳以上 | |

F3. あなたの家族構成は。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. ひとり世帯 | 4. 三世代世帯(親と子と孫) |
| 2. 一世代世帯(夫婦またはパートナーと自分だけ) | 5. その他の世帯 |
| 3. 二世代世帯(親と子) | (具体的に) |

F4. あなたのお子さんの人数は。(別居を含む)(○は1つ)

- | | |
|-------|------------|
| 1. 1人 | 4. 4人以上 |
| 2. 2人 | 5. 子どもはいない |
| 3. 3人 | |

F4-1. あなたが一番下のお子さんは。(○は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1. 3歳未満 | 4. 中学生 |
| 2. 3歳以上就学前 | 5. 高校生 |
| 3. 小学生 | 6. それ以上 |

F5. あなたの職業は。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1. 勤め人(正規の社員や職員) | 6. 家事専業(専業主婦・主夫) |
| 2. 勤め人(臨時・パート・アルバイト等非正規社員や職員) | 7. 無職(家事専業を除く) |
| 3. 会社などの役員 | 8. 学生 |
| 4. 自営業 | 9. その他 |
| 5. 家族従業員 | (具体的に) |

《就労中の方(F5で1～5を選択した方)におたずねします。》

F5-1. あなたの仕事の内容は。(○は1つ)

1. 看護師	11. 営業・販売系の職業 (店主、販売店員、営業社員、セールス、外交員など)
2. 医師	12. サービス系の職業 (飲食店店主・店員、理美容師など)
3. 介護士・ヘルパー等	13. 生産技能・作業 (工員、職人、大工、土木作業員、清掃員、倉庫労働者など)
4. 保健師	14. 保安の職業 (警察官・消防士・自衛官、守衛など)
5. 保育士	15. 農林漁業職(植木職、造園業を含む)
6. 薬剤師	16. 運輸・通信(運転手、郵便集配・配達員など)
7. 栄養士	17. その他 (具体的に)
8. 上記以外の専門・技術系の職業 (弁護士、教員、エンジニア、作家など)	
9. 管理的職業 (課長担当以上の管理職・議員など)	
10. 事務系の職業 (事務系会社員・公務員、オペレーターなど)	

《全員におたずねします。》

F6. あなたの配偶者・パートナーは、現在、収入を得る仕事をしていますか。(○は1つ)

1. している	2. していない	3. 配偶者・パートナーはいない
---------	----------	------------------

◆ジェンダー平等(男女共同参画)社会に関して、ご意見や感想がございましたらご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、この調査票のみを同封の返信用封筒に入れ、●月●日(●)までに
お近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)

用語解説

ジェンダー平等（男女共同参画）

一人ひとりの人間が、性別にかかわらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めること。

デートDV

交際中のパートナー間における暴力のこと。相手を自分の思いどおりにコントロールしようとする態度や行動。

LGBTQ（性的マイノリティ）

性的マイノリティ（性的少数者）を表す言葉のひとつとして、次の言葉の頭文字をとって組み合わせた「LGBTQ」が使われることもある。

L:レズビアン（女性を好きになる女性）、G:ゲイ（男性を好きになる男性）、B:バイセクシュアル（男女どちらも好きになる人）、T:トランスジェンダー（出生時に割り当てられた性別と異なる性別を生きる人/生きたい人）

Q:クイア、クエスチョニングなど（自分の性別や、好きになる相手の性別を決めていない人などを含めて「LGBTQ」と表現することが増えている。

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（女性支援法）

令和6年4月に施行された議員立法。女性をめぐる課題は生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など複雑化、多様化、複合化している中、コロナ禍によりこうした課題が顕在化し、「孤独・孤立対策」といった視点も含め、新たな女性支援強化が喫緊の課題となった。困難な問題を抱える女性支援の根拠法を「売春をなすおそれのある女子の保護更生」を目的とする売春防止法から脱却させ、先駆的な女性支援を実践する「民間団体との協働」といった視点も取り入れた新たな支援の枠組みを構築した法律。

アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）

過去の経験や周りの環境などから、自分自身では気づかないうちに身についたものの見方やとらえ方の偏りのこと。誰もがもつものであるが、アンコンシャス・バイアスによる押しつけや決めつけがあると、相手を不快にさせたり、人間関係に悪影響を及ぼしたりする。性別に基づくアンコンシャス・バイアスは、就労の場や地域社会、学校現場、メディア、家庭等のあらゆる場面において無意識に男女の役割に対する固定的な価値観を与えることがある。

市の相談窓口

※年末年始を除く

相談名	実施日	時間	内容
女性電話相談 Tel 072-621-0892	月～土曜日 (火曜・祝日除く)	午前 10:00～ 午後 4:00	子育て、介護、健康、人間関係など女性を取り巻くさまざまな悩みに関する電話相談
女性面接相談 (要予約 Tel 072-620-9920)	月～土曜日 (火曜・祝日除く)	午前 10:00～ 午後 4:00	子育て、介護、健康、人間関係など女性を取り巻くさまざまな悩みに関する面接相談
男性のための 電話相談 Tel 072-620-9920	第3・4水曜日 (月により変動あり)	午後 6:30～ 午後 9:30	生き方、子育て、家族問題、職場、社会生活など、男性を取り巻くさまざまな悩みに関する電話相談
女性法律相談 (要予約 Tel 072-620-9920)	第3木・第3土曜日	午前 9:30～ 午後 0:30	離婚、家族問題、金銭問題、近隣トラブルなど法律上の悩みに関する相談
女性の はたらき方相談 (要予約 Tel 072-620-9920)	偶数月 第2金曜日 奇数月 第2土曜日	午前 9:30～ 午後 0:30	求職、就職、働き方、職場でのことなどの相談
仕事なんでも相談	毎月最終木曜日	午後 1:00～ 午後 4:00	就職に向けての支援や労働条件などの労働問題全般に関する相談
DV、デートDVに関する相談 (配偶者暴力相談支援センター) Tel 072-622-5757	月～土曜日 (祝日除く)	午前 9:00～ 午後 5:00	配偶者・パートナー等からの暴力、ストーカーなどに関する相談